

# 大支援研ニュース

特別支援教育

平成25年3月30日発行  
大阪府支援教育研究会  
会長 服部 至栄  
(東大阪市立弥刀東小学校)

ホームページで  
お知らせが  
ある場合があり  
ます

<http://daishienken.visithp.com/>

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。

[jimukyoku2009@daishienken.visithp.com](mailto:jimukyoku2009@daishienken.visithp.com)

アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。

## ◇平成25年度の総会と役員総会の予定 総会案内は後日発送します。

**総会** 日時：平成25年5月16日(木) 午後3時～5時 : たかつガーデン 8階 たかつ(西)  
後半に大阪府教育委員会支援教育課より情報提供を予定しています。

**役員総会** (役員の方はご予約願います。) 木曜に限定されていませんので、ご注意ください。

第1回 日時：平成25年6月20日(木) 午後3時～5時 : たかつガーデン 8階 たかつ(西)

第2回 日時：平成25年9月10日(火) 午後3時～5時 : たかつガーデン 2階 コスモス

第3回 日時：平成26年1月21日(火) 午後3時～5時 : たかつガーデン 8階 たかつ(西)

## 冬季研修会報告 詳細は別紙

1月26日、大阪国際交流センターで冬季研修会を行いました。午前・午後6つの講座すべて満席の参加となりました。参加された方みなさん熱心に受講され、これからの実践に役立てていこうとしておられました。講師の皆様から、子ども達の顔を思い浮かべながら明日の実践に生かしていけるお話をたくさん教えていただいた、との感謝の言葉が多くありました。有難うございました。

また、各支部から来られた役員の皆様、本当にお世話になりました。

各講座の内容報告をご覧ください。すべての講座が定員を超過し、何人もの方にお断りをさせていただきました。申し訳ありませんでした。定員が少なすぎるなどのお叱りの声もいただきました。これからの研修の機会には、ぜひご参加ください。

(詳細は添付の報告記事をご覧ください。) ・報告まとめ ・アンケートまとめ

## 冬季講演会報告 詳細は別紙

2月23日(土) 午後2時～4時30分、今年度の大阪府支援教育研究会研究部の講演会が堺市産業振興センターで開催されました。

今回は、プール学院大学講師 松久眞実 先生をお招きして、「発達障がいと虐待の関連性～どこまで学校で支援できるか～」という演題で講演をしていただきました。(詳細は添付の報告記事をご覧ください。)

**大阪府教育委員会支援教育課、大阪府教育センター支援教育研究室との懇談会報告 別紙**

平成 25 年 2 月 8 日（金）に、大阪府教育委員会・府教育センターとの懇談会が行われました。研究会の本部役員、支部長、行事部員の参加のもと、教育委員会から 6 名、府教育センターから 1 名参加していただき、「大阪府における支援教育の現状と課題」について懇談が進められました。

研究会による今年度の活動について報告した後、以下の 5 項目について教育委員会、府教育センターから説明していただきました。（詳細は添付の報告記事をご覧ください。）

**2012年度版研究紀要CD-ROMは  
4月中旬以降に配布される予定です。**

内容は2012年度までの各支部の論文と活動報告などです。  
前年度版はDVDでしたが、これはCD-ROMです。

**各支部の報告****平成24年度 東大阪市支援研究会 作品展の報告 詳細は別紙**

平成 25 年 1 月 26 日（土）～28 日（月）午前 9 時 30 分～午後 4 時、東大阪市庁舎 1 階 多目的ホールにておこなわれました。詳細はホームページに写真入りの報告記事をアップしております。

他の支部も作品展や講演会・講習会の記事を投稿してください。HPIにアップします。

**他団体の案内****第46回大阪ムーブメント教育研究会のご案内 詳細は別紙**

大阪ムーブメント教育研究会（JAMET 大阪支部）代表 高井照隆

4 月から初めて特別支援教育に携われる方、ムーブメント教育に興味をもたれている方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も、ぜひご参加ください。

日時：平成 25 年 4 月 20 日（土）14:00 ～ 16:00

会場：大阪教育大学 附属特別支援学校

参加費：500 円（当日 徴収いたします）

内容：ムーブメント教育・療法の基本理論

－特別支援教育に活かすムーブメント教育・療法－

申し込み先及び方法は添付の案内をご覧ください。（JAMET 大阪支部）

# 2012年度 冬季研修会 報告 1

## 大阪府支援教育研究会

1月26日、大阪国際交流センターで冬季研修会を行いました。午前・午後6つの講座すべて満席の参加となりました。参加された方みなさん熱心に受講され、これからの実践に役立てていこうとしておられました。講師の皆様から、子ども達の顔を思い浮かべながら明日の実践に生かしているお話をたくさん教えていただいた、との感謝の言葉が多くありました。有難うございました。

また、各支部から来られた役員の皆様、本当にお世話になりました。

各講座の内容報告をご覧ください。すべての講座が定員を超過し、何人もの方にお断りをさせていただきました。申し訳ありませんでした。定員が少なすぎるなどのお叱りの声もいただきました。これからの研修の機会には、ぜひご参加ください。

なお、当日お書きいただいたアンケートの集約は、「報告2」にあります。

## ユニバーサルデザインの授業づくり

閑喜 美史氏 大阪府教育センター

ユニバーサルデザインは、対象を特定せず、誰でも自由に使い、効果を上げたり充足感が得られたりするものです。

閑喜氏は、それを支援教育の実践的課題として取り上げ、「個に応じた支援を可能にする学級・授業づくり」として、学習環境の整備、個の違いに対応できる授業、違いを認め合える集団づくりの3つの視点から、具体的に例を引きながら話されました。



まず、授業を受けるレディネスや教室環境の整備の大切さをおさえられた後、子どもの学力差・能力差に対応するためのオプションづくりを提示方法、表現方法、参加の方法の3つの面から、具体例を豊富に示しながらわかりやすく説明していただきました。次に、子どもが自ら選択しながら授業に主体的に向かうため前提となる学級集団、すなわち違いを認め合える学級集団づくりの要素と方向性を示されました。まさに、支援教育が、支援を必要とする子どものものだけではなく、そのスタンスがすべての子どもに必要であることを、実感できたお話でした。

## 障がいのある子どもへの性教育

—子どもの性被害・性加害を防ぐために—

徳永 桂子氏 思春期保健相談士



障がいのある子どもへの性教育、副題として、子どもの性被害・性加害を防ぐために、とのテーマで、徳永桂子先生にお話をいただきました。

性被害についての統計の中には、本人が話さないで障がいのある人たちの性被害は表れていないということを指摘されました。性被害を防ぐためには、ネットや性コミック本などの誤った知識ではなく、学校での正しい知識と行動としての性教育が大事であるという話をされました。その後、保護者に早期からの性教育の必要性の理解を得る「交通安全」と対比させた語りの実演や、参加者を子どもに見立てての授業実演もありました。

参加者からは、実際に授業をしていただきとても分かりやすかったという感想や、障がいのある子どもだけでなく関わるすべての子どもに通じる話で、性とは暗いものでふれてはいけないというイメージが変わりました、という言葉がありました。

当日は、多くの教材や書籍を展示していただき、研修会終了後も、多くの方が熱心に見ておられました。

## 障がい児に役立つ『ブレインジム』&『BRMT』

武田 博子氏、橋本 美保氏 キネシオロジーセンター

学校などでできる脳のエクササイズとして、ブレインジムの基本のエクササイズを紹介していただきました。

まず、脳の準備体操として ①水をちびちび飲む

②ブレインボタン ③クロスクロール ④フックアップ

の4種類を行うことを教えていただきました。

そして、実際に水をゆっくり飲んで神経配線をよくし、ブレインボタン（お臍に手を当て、鎖骨の下をマッサージする）をして

脳にスイッチを入れ、クロスクロール（左右交互に膝を上げ、左足の膝の上に右手をタッチ、右足の膝の上に左手をタッチ）で右脳左脳を動かし、フックアップ（手と足をクロスして深呼吸）で気持ちを落ち着かせる4つのエクササイズを体験しました。また、音読をするときに読みとぼしてしまう子どもに効果があるエクササイズとして、レイジーエイトという手と共に目を動かす運動を教えていただきました。



後半は、原始反射についてお話をしていただきました。実際に体を動かしながら、時間ぎりぎりまでいろいろな子どもに有効なエクササイズをたくさん紹介していただき、大変充実した研修会になりました。

## 発達からみた子どもの理解と接し方

—発達に凸凹のある子どもに有効な声かけなど—

山田 章氏

寝屋川市教育委員会



山田先生から子どものタイプ別による支援を具体的にわかりやすくお話を伺いました。

- 1、 注意集中と抑制が弱いタイプ。
- 2、 聞いたことをまとめる力が弱いタイプ。
- 3、 見た情報をまとめる力が弱いタイプ。

タイプによってどんな支援が必要か。どう声かけをしたらいいか。

勉強をどう教えたらいいか教えていただきました。先生方のやり方があるかもしれないが、学習方法を広げることで0点ではなく、60点を取らせることが出来る。それによって自信をもつことができ、将来、ニートにならず社会に出て働くことができる。

最後に伺ったお話は、叱っては絶対いけない。特に、見てまとめるのが苦手なタイプはやってはいけない。叱っている先生的心情が理解できないし、強い者の前では言うことを聞くというだけになってしまふ。代わりに、集団生活に困らないために「覚えててね作戦」を使う。それは、「しなさい」「ダメです」と、子どもを根本から変えようとするのではなく「分かった?」「覚えてて」「言ってみて」と、子どもが独自にもつルールをクラスのルールや常識やマナーの方へ修正していく。

会場からの質問からTTの入り方について、T2はT1と同じであってはいけない。T2はやさしく小さな声で「あなたを助けるために来ているよ。あなたの得になるよ」というメッセージを送る。

このように、さまざまなお話をいただいた有意義な時間でした。

## ことばのストレッチ体操

—発言発語、やりとり会話—

堀 一夫氏

大阪府立羽曳野支援学校

堀先生の講座は、発音発語の教具の説明だけでなく、随所にグループ作りのゲームのワークもあり、参加者同士が楽しい雰囲気の中で、パワーポイントを使った資料の説明も含めて、本当に盛りだくさんの内容でした。

まず、「ことばのストレッチ体操」ということばの中には、子どものことばを「じわじわと伸ばしていく」という堀先生の思いがあることを述べられました。

そして、「しゃべるか、しゃべらないか」については、例として、風車を見せたときに、息を吹きかけたり、手で回したりしようとするのか、それとも、手で握ったり、口で噛んだりしようとするのかという違いから、その子が概念を持っているのかどうかから考察することができるというお話がありました。



また、ことばの訓練をすることのみとられるのではなく、実生活に生かせる視点が大切なことや、歌や音楽や子どもの興味を取り入れていき楽しく授業を展開することのほか、一緒に遊ぶ際も後ろや横に居るだけでなく、意図的に目の前に行くことで、コミュニケーションに向かう気持ちを育てるきっかけを作るなど、具体的な事例をまじえて、指導のベースとなるお話がありました。

ことばの学習については、日々考えさせられることが多い教育現場の中で、このことばのストレッチ体操の講座を通じて、参加者のこころのストレッチ体操になったと思います。

## 算数のアセスメントと支援の実際

近藤 春洋氏 YCC(安原こどもクリニック)こども教育研究所



支援が必要な子どもたちに適切な理解と支援がないと、その子どもたちの自己効力感が低下してしまうことが明らかになってきています。そのような状況に子どもたちを追い込まないために、なるべく早く子どもたちの状況を把握すべきであるという話から研修が始まりました。授業のユニバーサルデザイン化という取り組みが進められていますが、何もかも全てをユニバーサルデザイン化することは難しいのも現実です。そこで、アセスメントに基

づく個別支援を行い、弱いところをカバーする方法について、クリニックで開発された教育支援ソフトを紹介しながら、たくさんの提言をしてくださいました。

脳科学の発達により、脳の頭頂葉の部分がさまざまな数的能力において重要な役割を果たしていることが、今日では明らかになっています。また、この神経回路は、空間認知の領域にも影響を及ぼすこともわかってきています。そこで、数への本質的な理解が進むように、数と空間を結びつけた指導法について、クリニックでの実践を紹介しながら、説明をしてくださいました。

スモールステップと間髪を容れずにすぐほめていくことで、小さな成功体験を繰り返して徐々に学習を進めていく取り組みは、学校での日々の実践にも応用できることがたくさんちりばめられていて、たいへん参考になりました。

# 2012年度 冬季研修会 報告 2

## アンケート まとめ ご協力有難うございました！

～ これからの研修および会の活動に活かしていきます ～

### 講座の感想など

#### ユニバーサルデザインの授業づくり

- ・特別支援コーディネーターとして、通常学級に安心して生活・学習できる居場所とその環境をつくるにはどうすればよいか、この研修を学校で同僚に伝えたいと思います。
- ・ほめることが、子どもの自尊感情を育てることはわかっていましたが、自己認知、自己理解につながり、社会に出てからの力となるなど、広い意味で学ぶことができました。来週からも頑張る力をいただきました。
- ・子どもが喜ぶほめ方のお話では、私自身も結果でなく過程をほめられるのがうれしいと感じていました。「先生もうれしい」をこれからもっと伝えていこうと思いました。
- ・通常学級での集団づくり、学習指導の指針となるお話を若い先生方に伝えたいと思います。
- ・自立活動を含め、広く詳しく教えていただき、視点が広がりました。
- ・たいへんわかりやすいお話で、あっという間の2時間でした。ぜひ、本校の職員研修に来ていただきたいです。
- ・さまざまな授業の工夫の仕方を聞き、まだまだ自分の課題が多いと感じました。何よりも、子どもの学びたい、わかりたいという意欲をもたせることに日々苦勞していますが、これからも頑張っていきたいと思います。
- ・具体的で、ワークショップもあり、たいへんわかりやすかったです。
- ・すべての教科で今すぐにというわけにはいきませんが、できることからやっていきたいと思います。

#### 障がいのある子どもへの性教育

—子どもの性被害・性加害を防ぐために—

- ・とても参考になるお話が聞けました。私も知らないことが多く、新鮮な気持ちで聞かせていただきました。障がいのある子どもだけではなく関わるすべての子どもにも通じる話で今までの性=暗い、ふれてはいけない、といったイメージをくつがえして下さいました。また、これからしっかり向き合って、性教育を教えていきたいとおもいます。
- ・すばらしい講演でした。性について、性教育について、今後の実践にいかしたい。又講演会があれば聞きたいです。目からウロコでした。

- ・授業形態で教えて下さったことが、とても分かりやすく、生徒への対応に実践させていただきたいと思いました。
- ・徳永先生の話は具体的にわかりやすい説明で、性教育をオープンにしていく（社会視のタブーを減らしていくことも含めて）必要を感じました。おとなしく言うことを聞く子がおそわれやすいことも確認できました。性教育が、寝た子を起こすのではと思いつつでしたが、心を生かす、心が生きる、心をかよわせるまでに関連づけていける必要性を勉強できてよかったです。
- ・障がいのある5年生の男の子が最近、性に興味を持って、ごく普通の成長だと思のですが、そのことを小さい（1年生・2年生）子にも、おもしろおかしく大きな声で話すので、雑誌や映像から入ってくる情報ではなく、いつどのタイミングで、どのように正しい知識を教えるべきか知りたくて、この研修会に参加しました。その子はインターネットが大好きで特に望ましくない暴力やアダルトの動画を見ていると思います。学び直し、心のケアの話聞き、考え方が少し変わりました。実際に授業をしていただいて、とても分かりやすかったです。自慰に対する声かけもよく分かりました。少し、もやとした気持ちが晴れました。他の先生にうまく伝える自信がないので、こんな研修を他の先生も聞かれると話しやすいと思いました。
- ・「性」を肯定的に捉えた上で支援する…頭で分かったつもりになっていましたが、先生のお話を聞いて、私自身が性を否定的（恥ずかしい…など）に捉えていた部分や認識の甘さがあることに気づかされました。科学的に客観的に肯定的に正しい知識を伝えることの大切さを改めて痛感しました。とても良い刺激を受けました。ありがとうございました。
- ・性教育の研修はとても具体的で私の知りたかったことを教えていただけて、よかったです。ぜひ実践していきたいと思います。 ・できるところからやってみよう…と思えました。
- ・中学生を教えています。支援学級には、男子が多くなってきています。思春期に入りますので、性についての指導に、いろいろ考えることがあります。今日のお話は、とても参考になりました。通常学級の子どもたちにも、話をしてやりたいと思いました。
- ・性を肯定的にとらえ、学ぶことが、どんなに大切か改めて実感しました。家庭でも、母として、これまで以上に話していかなくてはと思います。確かに、間違った性情報にさらされているので、子どもが言うたびに、学び直しをする必要があると思いました。また、中学校でも、しっかり伝えていかなくてはと考えています。 ・また、来年もよろしくお願ひします。
- ・模擬授業などの解説なども並行して教えていただくことができ、本当にわかりやすかったです。性教育、特に障がいのある子どもに何を伝えるか、どのような言葉や方法を使って伝えたらよいか、具体的に教えていただくことができ、とても実りのある時間でした。

## 障がい児に役立つ「ブレインジム」&「BRMT」

- ・ブレインジムについて、知らない分野でしたが、体を動かすことで、脳の活性化につながり、良い効果をもたらすことを知り、とてもいい勉強になりました。ぜひ、学校に来ていただき、職員全員にお話&体験をしていただきたいと思いました。

- ・エクササイズをたくさん紹介していただいて参考になりました。重度知的障害児、自閉症を担任しているので、ゆっくりな児童に対するエクササイズを教えていただき勉強になりました。ぜひ、子どもたちに合うやり方で行いたいと思っています。
- ・今までなかった知識を得ることができました。ありがとうございました。
- ・自分の教えている子どもの特徴に合った指導、体操が分かって良かったです。
- ・受け持っている子が頭に浮かびました。リラックスする基本エクササイズをやってみたいと思います。
  - ・具体的に体を動かし、楽しく学べました。
- ・実際に体を動かしてみてもよく分かった気がします。特に気持ちよさを体感することができました。役立てたいと思います。学校の方でも紹介していただきたいと思いました。
- ・体をみて、さわって、子どもの課題につなげて支援するというとても興味を持ってました。
- ・ぜひ、何らかの形でいい取り組みにつなげていきたいと思っています。
- ・いろいろな体の動かし方が分かり良かったです。特に子どもの動き、行動をもとに説明してもらって良かったです。
- ・エクササイズが多く、自分自身への治療もできて良かった。子どもの顔が浮かんできた。
- ・初めての内容だったので、とても参考になり、良かったです。
- ・授業のスタートの時の導入等にしても利用できてとても参考になった。実技も多く、利用しやすく考えられていて、ありがたかった。
  - ・是非クラスでも活用したいと思っています。
- ・「ブレインジム&BRMT」は緊張している子どもたちの体をほぐしたり、考える側の者の緊張もほぐれたり、楽しく一緒にできると思いました。
- ・たくさんの種類の体操等を教えていただき、楽しかったです。学校に帰って実際に試してみたいなど思うものもたくさんありました。今回は時間が少しだったので、紹介程度だったと思います。自分で使えるものになるように、もっと勉強したいなど思いました。

## 発達から見た子どもの理解と接し方

—発達に凸凹のある子どもに有効な声かけなど—

- ・寝屋川市の取り組みをいいなと思いました。他の市にも広げてほしいです。
- ・非常にわかりやすいお話で実際の子どもの顔が思いうかべられました。
- ・「覚えててね作戦」は「言ってみて」まで言わないと「守る気がない」というのは“なるほど”
  - ・明日から覚えててね作戦を実行します。
- ・日常の指導の参考になりました。
  - ・具体的な方法を教えていただきよくわかりました。
- ・TTの件なども確認できました。
  - ・T2の役割の話も納得でした。
- ・実際に実践できる内容がたくさんあり、気持ちもよくわかり、接し方もよくわかりました。
- ・タイプ別に具体的にわかりやすく勤務校で職員にぜひ伝えていき実践していきたいと思いました。
- ・9時間の講習ということなのでもっと聞きたい気持ちでいっぱいです。
- ・我が校に来て、全職員に研修してほしい。
- ・とても参考になりました。明日からの授業に役立てたいと思います。
- ・覚えててね作戦とかいろいろ勉強になりました。もっと聞きたかったです。

- ・違う国の王様が留学に来られたという説明が一番よくわかって自然とあとの内容も理解が深まりました。  
・とてもためになったが高等部へのアプローチが少なすぎる。
- ・パターン全てあてはまる生徒の顔を思いうかべながら学習でき有意義でした。
- ・以前にも山田先生のお話を聞き勉強になりました。今回も山田先生の研修会があることを知り参加させていただきました。
- ・以前に教えていただいた「覚えててね作戦」を忘れかけていたのでまた、明日から実行しようと思いました。
- ・とてもよくわかり、5年生を担当している娘のことを思って山田先生の話をかかせてあげたいなと思いました。
- ・とても大変に見える子どもも少しの期間ですごい方向に変わったりするのを体験しています。やはり、話し方、もっていきかたが大事だなあと感じました。
- ・支援学級の多くの子ども達の顔と行動が思い浮かびました。
- ・中途半端なやさしさは、子どもの自立の妨げになってしまっていることを常に気をつけないといけないと思いました。
- ・山田先生とてもおもしろくあつという間に時間が過ぎました。「ある！ある！」と思いながらお話を伺っていました。  
・楽しく大変具体的で明日から使える方法を教えていただきました。
- ・いろいろな子どもの顔が浮かんできて月曜日からすぐ使えるなど思いうれしくなりました。

## ことばのストレッチ体操

### — 発言発語、やりとり会話 —

- ・基礎的な話から分かりやすく教えていただいて、参加できてとても良かったです。続きを聞く機会があればぜひ参加したいと思います。
- ・ことばを少しずつじわじわと力を入れて伸ばしていくという意味でストレッチというのが分かり、また、しゃべるか、しゃべらないかも概念があるかないかであるということも分かりました。
- ・形式的なパターン学習を実生活に生かしていく場面設定を工夫することが大切だと分かりました。明日からの学校現場でこのことを意識しながら、子どもたちと関わっていきたいと思います。
- ・ことばのストレッチ体操のお話が聞きたかったので、今回の研修を楽しみにしていました。言語訓練も大切だけれど、「生活に生かせるかどうか」というお話を聞いて、なんだか安心しました。月曜日から、子どもの興味にあわせてやっていきたいと思いました。
- ・子どもがどうすればことばを獲得していくのか、分かりやすく教えていただき、ありがたかったです。ことばをある程度話せるようになった次の段階（文章や助詞の使い方など）の指導法も知りたいと思いました。
- ・多くの事例、教材を紹介していただいて、日頃の取り組みを思い浮かべながら、たいへん参考になりました。また、コミュニケーションに向かう気持ちの大切さ、それを授業の中に、どう組み込んでいくのか考えたいと思いました。
- ・ワークも含めてことばの指導について、教材具の紹介さらにやり方と基本的な心構え、多岐について触れていただきました。担当している子への指導に役立てていこうと思います。

- ・やりとりをうみだす場面を作ることが大切だとよく分かりました。
  - ・今、受け持っている自閉症の児童は、ことばのやりとりができない、50音など文字は覚えられないと思っていました。別の児童のために、少しでも発語を促すことができれば…と思い、今日は参加させていただきましたが、私が知らなかっただけで、色々やり方があるんだということが分かりました。ドキドキ、わくわくの気持ちを持つ指導を考えたいと思います。
  - ・発語からことば、コミュニケーションへ持っていくまで、具体的で分かりやすく、本当に良かったです。すぐに実践してみたいこともたくさんありました。興味深い話で、有意義な内容でした。
  - ・現場のお話、あそびの紹介がたくさんあって、良かったです。
  - ・ユニークな話、ありがとうございました。形式的な訓練も必要だが、それよりも実際の場面でのやりとりを大切に、これからやっていきます。
  - ・体を動かしてからリラックスして研修に入ったのが良かったです。楽しかったです。
  - ・コミュニケーションに向かう姿勢など、大切なことを教えていただきました。
  - ・内容は、とても興味があり面白かったのですが、自分のものとするためには、もう少し考える時間、整理する時間がいりそうです。2時間という中では、きびしいものがありました。
  - ・ことば数が少ない子への指導法も教えていただけたらと思いました。
  - ・具体的な指導例や方法を教えていただき、とても勉強になりました。多くの指導法の引き出しを知っていきたいと思いました。
  - ・親子の密着もどれだけ必要かよく分かりました。
  - ・著書等を読んで、ずっとお話をお聞きしたいと思っていました。すごく納得できることも多く、新しい指導方法もたくさん教えていただいて、とても参考になりました。
  - ・やりとりはかしこまったものだけでなく歌やゲームを通して深まっていくものだということを再認識しました。実体験をふまえた関わり合いを大切にしたいと思います。
  - ・ことば・発音がない子どもへの対応について、大変くわしく研修させてもらって参考になりました。また、現場の子供に対する指導に役立てていきたいです。
- ・内容が豊かで、時間が短く、ゆっくりと何回も学習したかった、という意見、  
学級ですぐに実践したい、という内容の意見が多くありました。

## 算数のアセスメントと支援の実際

- ・とてもわかりやすく、脳の働きを教えていただき、楽しく学習ができました。もっともっと聞かせてほしかったです。次回があれば、是非、また、参加させてもらいます。
- ・算数にアセスメントについて、ずっと困っていたので、とてもありがたかったです。日頃、いろいろなものを使って学習していますが、パソコン画面で、ていねいに学習でき、効果もあるということが、すばらしいと思います。さっそく使わせていただきます。
- ・それぞれの子どもの特性を理解して、教材や教具を工夫していくことが必要だとういことがわかりました。近頃、算数に移行できそうな子のよいコミュニケーション手段が確立しそうなので、こちらに來させていただきましたが、ストラテジー型学習で、提供できたらなあと思います。

- ・算数については、なかなかアセスメントできるものがなかったにで、今日のお話はたいへん勉強になりました。近藤先生、ありがとうございました。
- ・実例と DVD の解説で、あっという間の 2 時間でした。すぐに教材を作ったり、DVD をためしてみたくなりました。
- ・とても楽しく受講することができました。担当の児童の？の部分の理解が少しわかった気がします。今日のこと、日頃にかかしていきたいと思います。
- ・この子にこのソフトを使うとどうかな？と思い浮かぶ子がたくさんいたので、さっそく月曜日に試したいです。具体的な話が多く、わかりやすかったです。具体物の操作の大切さもよくわかりました。3 の段の九九のソフトなどは、クラスでも使えそうで、やりたいです。
- ・具体的に見せていただいたので、担任している子どもの様子を思い浮かべながら、お話を聞くことができました。ありがとうございました。
- ・ゲルストマン症候群の中 1 男子が、安原 C でお世話になっています。療育の知識がない一般校で、彼に何をしたものか、悩める日々です。今日は DVD も忘れてしまいました。また、アドバイスを伺いに、改めてご連絡させていただくかもしれません。貴重なお話、ありがとうございました。
- ・空間の認知の重要性は感じていましたが、今までの実践をバージョンアップできそうです。
- ・月曜日からすぐに DVD を使ってみたいです。子どもの変化が VTR で見ることができ、効果があるのだと思いました。これは、1 つのアプローチ、いろいろなアプローチがあると言われたのが、印象的でした。百均には、いろいろ教材に使えるものがあるのだと思いました。ありがとうございました。
- ・具体物で操作することを大事にされていて、その般化ができるようにソフトが作成されているので、大変役立つ内容でした。自分ではなかなか作れないので、活用したいと思います。
- ・具体的ですぐ使えそうで、本当によかったです。想像以上でした。

## 2. 研修会の運営全体について

- ・今の方法でよい。良かったです。などの声を多くいただきました。ありがとうございました。
- ・他の講座も聞きたいがあるので連続講座でどれもきけるようにしてほしい。
- ・参加したい研修が重なってしまいました。残念です。
- ・質問時間が少なすぎる。最低限のタイムテーブルを事前にホームページにだしてほしい。当日にわかるのはしんどい。
- ・午後 2 時開始までに 1 時半から受付して時間がもったいなかったのが 2 時より少し早めに開始して、質問タイムがたくさんとれるようにしてもらえたら。
- ・全体質問だけでなく個人質問で残って聞きたいことを聞いてもらえたらありがたいと思いました。
- ・運営・企画してくださった皆様に深く感謝します。
- ・教材や本の頒布があることを前もって告知していただければ良かったと思います。
- ・会場もすぐ動くことのできる部屋でゲームなどができてよかったです。
- ・体験型でとても楽しく研修ができました。ありがとうございました。
- ・1 月末の研修はいつもよい刺激になり、指導の意欲につながります。

- ・レジュメのどこを見たら良いのか、少し分かりにくかったです。
- ・会場案内表示がちょっと分かりにくかったです。⇒の書き方が…
- ・インターネットで申し込めて助かりました。お世話になりました。
- ・「算数アセスメント」がいっぱいになり、他の分科会に参加しました。ぜひとも「算数アセスメント」を受講したいので、もう一度機会を作ってもらえたらありがたいと思います。
- ・なかなか自分の行きたいところには人数が限られていて参加することができませんでした。1つの講座の人数を増やしてもらおうとか、日数をバラバラで全て参加できるように等、たくさんの講座に参加できるようにしてほしい。
- ・会場が会議場ですが、支援学校を会場として研修すると準備も楽だし、会場校の先生もたくさん参加してもらえと思う。水曜日の午後を中心に日程を考えてほしい。できれば休日の自主研修にならないようにしてほしい。
  - ・HPの背景が黒いので印象が今ひとつ。
- ・無料なのがうれしいです。今後もよろしくお願いします。
- ・もう少し会場が広げればと思いました。
  - ・しっかりジムするには場所が狭かったです。
- ・時期、時間的にちょうどよいと思います。
  - ・申し込み等、しやすく良かったです。
- ・午前の部では、本などもたくさん見せていただくことができ、良かったです。運営も円滑でした。

### 3. これからどのような研修会や講演会を行えばよいか

- ・障がい児の性教育について、もう一度くわしく聞きたいです。あと、障がい児の他者への暴力について、どう教えていくか聞きたいです。
  - ・もう少し長い時間でもよいと思いました。
- ・算数の人数枠を多くしてほしい。聴講だけというのでもいいので。
- ・小・中等部の話ばかりで卒業後に向けて（一般社会への参加）についての話が少なすぎる。
- ・今、自閉児が多いので、そういう研修もお願いしたいです。コミュニケーションの取り方など。
- ・今日の研修は、どれも受けたいと思ったので、日を別にして、受けられるようにしてほしいと思いました。
  - ・今日のような実践的な研修がありがたいです。
- ・事例をたくさん交えたお話が聞けると嬉しいです。
  - ・教具・教材づくりに参加したいです。
- ・夏の研修 ICT もとても勉強になります。また来年度もよろしくお願いします。
- ・支援学校を会場にして研修会を実施すれば、時間や費用の制約も少なくなると思う。講座の数を2つに絞って、収容人数をもう少し増やした方がいいし、質疑の時間も必要です。
- ・興味のある分科会が多すぎて、1つずつしか参加できないのが残念です。日を分けて、何回か繰り返し開催してくれるとうれしいです。
- ・今日のようなアセスメントの教材 DVD がいただけるような研修はとてもうれしいです。性教育についても、とても聞きたかったので、参考になりました。
- ・続きでブレインジムの詳細を教えてください。
  - ・6つともうけたいので、年に2～3回に分けてもらえとうれしいです。
- ・自立課題について、たくさん教材を知りたいです。
- ・自閉症の子供へのSST、ワークなどを知りたいです。
- ・ふだんの授業に生かせるようなお話をたくさん聞きたいです。

## 『講演会』報告

2月23日（土）午後2時～4時30分、今年度の大阪府支援教育研究会研究部の講演会が堺市産業振興センターで開催されました。

今回は、**プール学院大学講師 松久眞実 先生**をお招きして、「**発達障がいと虐待の関連性～どこまで学校で支援できるか～**」という演題で講演をしていただきました。



松久先生の軽妙な語り口にぐいぐい引き込まれ、あっという間の2時間半でした。

講演では、「1 発達障がいと虐待の関連性」「2 虐待による心理的ダメージ」「3 支援の在り方」について、今までの教師生活と研究をもとに具体的なお話をしていただきました。虐待を受けている児童がいかに過酷な環境に置かれているか、身体だけではなく甚大な心理的ダメージを受け、一生そのことに苦しめられているということを語っていただき、改めて虐待が深刻な問題であることを感じました。

被虐待児童を変えることは通常の学級の中では、非常に困難です。しかし、児童に自尊感情を育み、自己コントロール力をつけることで、二次障害を防ぐ取り組みができる、といくつかの実践を紹介していただきました。いじめのスマールステップをクラスみんなで確認することや、月に1回いじめアンケートをとることなど、いじめのないクラス作りのための手だても教えていただきました。また、「支援の在り方の基本」として教師が虐待の加害者と対極にある「大人」モデルになる、ということがとても印象的でした。感情的に怒鳴っていないか？同じ土俵に立っていないか？叱る基準がぶれていないか？など、これからも自分を振り返る指針にしたいと思います。

最後に、指導が困難な児童を前に日々悩み、自信を失っていくこともしばしばです。けれど、「多くの苦難が待ち受けている彼らの人生で、私のことを大切にしてくれる大人が一人でもいた」と10人中1人でも思ってもらえればいい、という松久先生の言葉に大変勇気づけられました。

（文責：大阪府支援教育研究会 研究部 豊中市立東丘小学校 足立しのぶ）

**大阪府教育委員会支援教育課・府教育センター支援教育研究室との懇談会**

平成 25 年 2 月 8 日（金）に、大阪府教育委員会・府教育センターとの懇談会が行われました。研究会の本部役員、支部長、行事部員の参加のもと、教育委員会から 6 名、府教育センターから 1 名参加していただき、「大阪府における支援教育の現状と課題」について懇談が進められました。

研究会による今年度の活動について報告した後、以下の 5 項目について教育委員会、府教育センターから説明していただきました。

**1. 小中学校における支援教育の充実について**

## ◎特別支援学校教員免許法認定講習の状況について

- ・支援学校教員の免許取得を今後必須としていく方向が示されているため、支援学校教員を優先的に受講決定している状況
- ・講習場所、日時については積極的に周知を図り、小中学校にも情報提供をすすめていく

## ◎支援学級の種別設置について

- ・児童・生徒の障がいの状況や教育的ニーズに応じた障がい種別による学級設置を行うことで児童・生徒の実態に応じた指導の充実を図っていく
- ・義務標準法に基づき、市町村が児童・生徒の実態を踏まえた学級編制を行っている

**2. 府立支援学校の教育環境整備について**

- ・「大阪の教育力」向上プランをもとに、府内 4 地域で知的障がい支援学校の新校整備を進めている
- ・うち 3 校には、就労を通じた社会自立をめざす「職業学科を設置する知的障がい高等支援学校」を併設
- ・平成 25 年 4 月開校の「摂津支援学校」「とりかい高等支援学校」は、ともに希望が多く、ニーズが高い

**3. 知的障がい生徒自立支援コース、共生推進教室での取り組みについて**

- ・クラス授業を基本とし、小集団、個別の授業を生徒一人ひとりの状況に応じて実施。将来の自立を見すえた授業を行っている。
- ・平成 24 年度から高等学校支援教育力充実事業として、自立支援推進校・共生推進校がこれまで培ったノウハウを府立高等学校に発信している。府下 4 校の支援教育サポート校が府立高等学校の相談等に応じている。
- ・卒業後の進路については、一般企業への就労をはじめ、専門学校、短大など多様である

**4. 府立支援学校における支援教育の充実について**

- ・平成 25 年度、3 つの職業学科を設置した「とりかい高等支援学校」を開校
- ・府立支援学校に職業コースの設置。各学校により地域の特色を取り入れたコース内容や実習体系を実施
- ・就労を見据えた教育、企業への積極的な働きかけにより、就職率が徐々に上昇

**5. 支援教育教職員研修の充実について**

- ・新任支援学級及び新任通級指導担当教員研修の受講者が年々増加。平成 25 年度は府教育センターでの講義だけでなく、市町村の協力を得て市町村の学校を会場とした研修の実施を計画している。
- ・年間を通して校種や経験、テーマ別など様々な研修を実施。平成 25 年度は、市町村別のテーマや実践例を考えた研修を加え、より課題に応じた研修の充実を図っていく。

3、4 の項目において、進学や就労の点で多くの質問や意見が出されました。障がいのある生徒の就労に向けて、教育環境の整備が多く求められている実情を伝えることができました。また今回の懇談会で、教育委員会や府教育センターでは支援学校の設置や、研修による教職員の専門性向上など、多くの事業に取り組んでおられること、その成果や現状を知ることができました。障がいのある子ども一人ひとりの自立をしっかりと支援できるように、教職員も思いを一つにして児童生徒の教育に努めていきたいと思いました。

大阪府支援教育研究会 行事部

# 第46回 大阪ムーブメント教育 研究会のご案内

大阪ムーブメント教育研究会（JAMET 大阪支部）  
代 表 高 井 照 隆

ムーブメント教育は、1977年に小林芳文博士（和光大学教授）によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育を基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げていきたいと考え、2005年10月から大阪でも研究会をスタートしました。これまでの研究会の活動を通して、ムーブメント教育が大阪を中心として西日本でも大きく広がり、仲間のつながりが深まってきています。

4月から初めて特別支援教育に携われる方、ムーブメント教育に興味をもたれている方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も、ぜひご参加ください。

☆ 日 時 :平成 25 年4月 20 日(土) 14:00 ~ 16:00

☆ 会 場 :大阪教育大学 附属特別支援学校  
(大阪市営地下鉄谷町線 喜連瓜破駅下車 徒歩 5 分)

☆ 参加費 :500 円 (当日 徴収いたします)

☆ 内 容 :ムーブメント教育・療法の基本理論  
—特別支援教育に活かすムーブメント教育・療法—



第 42 回 研究会  
(大阪セミナーの様子)

☆ 申し込み先及び方法

:JAMET 大阪支部 FAX 072-367-0713

:E-MAIL osaka-movement@good.zaq.jp

:下記の申込書にご記入の上FAX、もしくはメールでお申し込みください。

☆大阪ムーブメント教育研究会ホームページ [http://www.good.zaq.jp/osaka\\_movement/](http://www.good.zaq.jp/osaka_movement/)

☆ その他 ・動きやすい服装でご参加ください。

・問い合わせ等 JAMET 大阪支部 高井照隆 090-9995-5223

---

## ☆ ムーブメント教育 研修会(4月20日) 参加申し込み

ご氏名(ふりがな)	所属名	連絡先
		TEL・FAX
		E-MAIL

\* 複数枚必要な場合は、おそれいりますが、コピーをしてお申し込みください。